

2 学年「国語科」シラバス

学習の目標

日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにします。順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようにします。言葉がもつよさを感じるるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養います。

評価の観点

| 評価の観点 | 評価規準 |
|---------------|---|
| 知識・技能 | 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。 |
| 思考・判断・表現 | 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもっている。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えをもったりしながら、言葉がもつよさを感じようとしているとともに、楽しんで読書をし、言葉をよりよく使おうとしている。 |

評価の方法

国語の学力は主に次のような方法で把握します。

- | | | | | |
|---------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|-------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 授業態度 | <input type="checkbox"/> 発言、発表 | <input type="checkbox"/> 音読・朗読 | <input type="checkbox"/> 単元テスト | <input type="checkbox"/> 小テスト |
| <input type="checkbox"/> ワークシート | <input type="checkbox"/> 作文 | <input type="checkbox"/> ノート | <input type="checkbox"/> 提出物 | |

2 学年「算数科」シラバス

学習の目標

第1学年の学習を踏まえて、引き続き具体物などを用いることを通して算数の学習に関心を持ち、基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常生活や算数の事象を、数学的に捉え表現したり処理したりすることを重視します。

数の概念についての理解を深め、数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、加法、減法及び乗法の計算をしたり、図形を構成したり、長さやかさなどを測定したり、表やグラフに表したりすることなどの技能を身に付けるようにします。数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、生活や学習に活用しようとする態度を養います。

評価の観点

| 評価の観点 | 評価規準 |
|---------------|--|
| 知識・技能 | 数の概念についての理解を深め、計算の意味と性質、基本的な図形の内容、量の概念、簡単な表とグラフなどについて理解し、数量や図形についての感覚を豊かにしている。 加法、減法及び乗法の計算をしたり、図形を構成したり、長さやかさなどを測定したり、表やグラフに表したりすることなどについての技能を身に付けている。 |
| 思考・判断・表現 | 数とその表現や数量の関係に着目し、必要に応じて具体物や図などを用いて数の表し方や計算の仕方などを考察する力、平面図形の特徴を図形を構成する要素に着目して捉えたり、身の回りの事象を図形の性質から考察したりする力、身の回りにおけるものの特徴を量に着目して捉え、量の単位を用いて的確に表現する力、身の回りの事象をデータの特徴に着目して捉え、簡潔に表現したり考察したりする力などを身に付けている。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。 |

評価の方法

算数の学力は主に次のような方法で把握します。

- 授業態度 ○発言、発表 ○単元テスト ○小テスト
○ワークシート ○ドリル ○ノート ○提出物

